



TCA

— NEWS —

Vol.91 8月号

発行

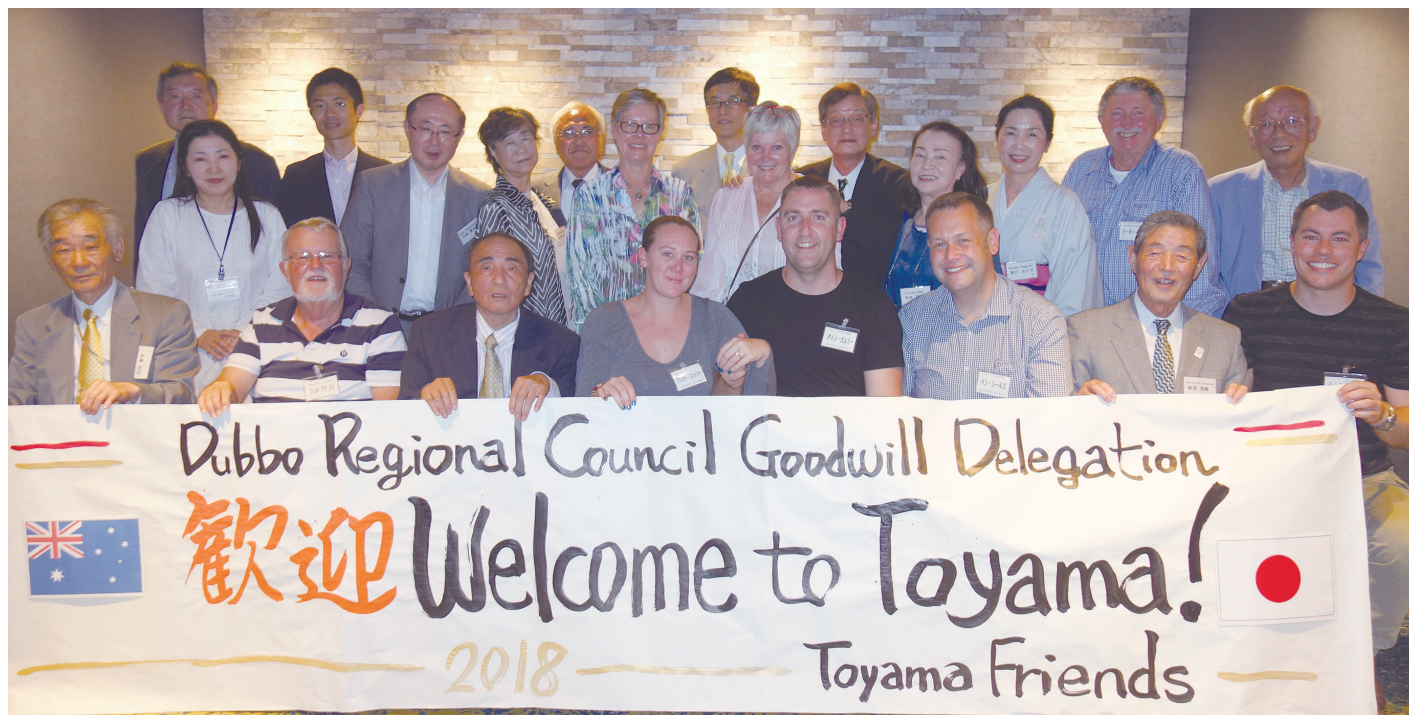
富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会



ダボ・リージョナル・カウンスル親善訪問団送別会 5月18日(金)富山エクセルホテル東急15Fリコモンテ

富山市総合防災訓練に 語学ボランティアとして参加しませんか!

日 時：9月29日(土) 8:30~11:00
会 場：八尾コミュニティセンター
内 容：災害多言語支援センター設置・運営訓練、
避難所での巡回訓練 他
対 象：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語での
会話が可能な方
締 切：9月7日(金)

〈事前研修会〉 日時：9月8日(土)13:30~15:00
場所：富山市国際交流センター

募集中です!!

外国語ボランティア養成講座 後期

対象言語：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語

日 時：① 10月27日(土) 13:30~15:00
② 11月24日(土) 13:30~15:00
③ 1月26日(土) 13:30~15:00

場 所：富山市国際交流センター会議室

内 容：外国人をサポートするために必要な表現や
語彙、文化の違いを学びます。

対 象：会員 / 受講料：無料

定 員：各言語 20名程度

国際交流フェスティバル2018ボランティア募集

国籍を越えて「異文化理解と交流」をテーマに開催。

富山駅とCiCビルの2会場で開催します。世界各国の紹介、踊りや音楽の披露、国際交流・協力団体の紹介を行うなど多彩な内容となっています。皆さんも企画・準備段階から関わり、フェスティバルを楽しんでください!

♥日 時 11月11日(日) 10:30~16:30
♥会 場 富山駅構内・CiCビル
♥内 容 ①ステージパフォーマンス(出演者受付、誘導、舞台準備)
②会場係(設営、会場整理、ゴミ収集等)
③体験コーナー係

♥募集人数 20名程度
♥申 込 国際交流フェスティバル実行委員会2018
(事務局) 富山市民国際交流協会

◆ 会員募集中!! ◆

富山市民国際交流協会では、国際理解・国際交流や多文化共生のための事業を開催しています。一緒に活動してみませんか! 入会をお待ちしています。

- ★協会広報誌TCA-NEWSをお送りします。
- ★各種イベントのスタッフとしてボランティア活動に参加し、外国の方と交流できます。
- ★語学講座や研修旅行、講演会に参加できます。

〈年会費〉 個人会員 3,000円
家族会員 5,000円
法人・団体会員 10,000円

平成30年度 富山市民国際交流協会 理事会・総会報告

理事会を4月26日（木）に開催し、総会提出議案等について審議、承認されました。総会は5月24日（木）に開催し、会員55名が出席しました。

はじめに、今後ますます増えるインバウンド需要に対応し、外国語によるボランティア活動の拡大と訪日外国人に対する協力を進めていく必要があること、また、姉妹友好都市や現地団体との友好親善と異文化理解を進め、姉妹友好都市からの訪問団として、今年は「ダボ・リージョナル・カウンスル親善訪問団送別会」の受け入れを行い、市民交流のさらなる原動力となるよう努めていきたいと高木会長から挨拶がありました。その後、富山市長 森 雅志様（代理 西田企画管理部長）からご祝辞をいただきました。

議事では、平成29年度の事業報告、収支決算・監査報告、平成30年度事業計画案・収支予算案、役員の選任案がそれぞれ原案通り議決されました。



◆ 平成30年度 年間事業計画及び収支予算 ◆

1 事業方針

日本人と外国人がともに安心して暮らせるよう、会員の協力を得て次の三事業に積極的に取り組んでまいります。

- (1) ともに生活する外国人を身近に感じることのできる「国際交流」の推進
- (2) 在住外国人の支援を軸とした「多文化共生」の地域づくり
- (3) 市民交流の原動力となるよう「国際感覚豊かな人材の育成」

2 理事会・総会・正副委員長会議等

- (1) 理事会 4月26日（木）
- (2) 総会・講演会・懇親会 5月24日（木）
- (3) 正副委員長会議 年4回開催

3 多文化共生事業

- (1) 国際交流事業
 - ① 富山まつり「越中おわら踊り」に参加 8月 4日（土）
 - ② 国際交流フェスティバル2018 11月11日（日）
 - ③ 新春国際交流のつどい2019 1月20日（日）
 - ④ 国際交流・協力団体の支援
- (2) 日本語学習支援事業
- (3) 外国籍児童・生徒への学習支援事業（勉強お助け隊）
- (4) 防災のための体制作り
 - 総合防災訓練に参加 9月29日（土）
- (5) 外国語ボランティア養成講座
- (6) 観光サポーター研修支援事業
- (7) 相談事業
- (8) 私たちの活動説明会 2月23日（土）
- (9) 中学生のための英会話積極性向上事業
- (10) ポルトガル語講座（MPBで学ぶ）
- (11) 韓国語ボランティア講座（中級レベル）
- (12) 韓国文化紹介講座
- (13) 国際交流関係会議等への出席
 - 北陸都市国際交流連絡会総会・研修会 7月 6日（金）

4 語学講座事業

- (1) 中国語初級 週1回 1クラス 30回
- (2) 韓国語初級 週1回 1クラス 30回

5 ボランティア登録対象の拡大

6 総務企画委員会

- (1) 国内研修 7月1日（日）～2日（月）
- (2) 国際交流TCAカレッジ

7 姉妹友好都市委員会

- (1) 海外研修
- (2) 姉妹友好都市等訪問団員との交流会
- (3) 姉妹友好都市研究講座

8 文化交流委員会

- (1) 日本伝統文化等の紹介
- (2) 交流会
- (3) 体験談を聞く会

9 ボランティア委員会

- (1) 交流会
- (2) ホームステイ・ホームビジット
- (3) 海外ボランティア活動への支援
- (4) 災害時義援金募金・リサイクルバザー

10 広報・組織強化委員会

- (1) 会報TCA-NEWSの発行
- (2) ホームページによる情報提供
- (3) 組織強化（学生参加による）

11 国際教養委員会

- (1) 一般研修講座（13講座）
- (2) ディスカバー富山
- (3) 通訳やガイド協力

◆ 収支予算について ◆

＜収 入＞		＜支 出＞		(単位：円)
科 目	予算額	科 目	予算額	
1 会費収入	1,920,000	1 管理費	11,852,000	
		(1)会議費	502,000	
		(2)人件費	10,429,000	
2 事業収入	1,732,000	(3)管理諸費	921,000	
		2 事業費	5,934,000	
		(1)多文化共生事業費	3,319,000	
3 補助金収入	14,029,000	(2)総務企画事業費	616,000	
		(3)姉妹友好都市交流事業費	369,000	
4 寄附金	10,000	(4)文化交流事業費	201,000	
		(5)ボランティア事業費	118,000	
5 雑収入	92,754	(6)広報・組織強化事業費	602,000	
		(7)国際教養事業費	349,000	
6 繰越金	5,246	(8)語学講座事業費	360,000	
		3 予備費	3,000	
合 計	17,789,000	合 計	17,789,000	

※総会資料は事務局にあります。

総会講演会

- 演題 日本語教師になって30年
- 講師 ヨフコバ四位 エレオノラさん 富山大学教養教育院教授

ブルガリアはバルカン半島に位置し、ヨーロッパとアジアの文化が混在しており、多文化に対して寛容である。キリル文字はブルガリア発祥であるというのは興味深い。講演当日の5月24日はブルガリアの祝日「教育と文化の日」であり、ブルガリア教育・文化・キリル文字の日として祝われている。

日本語教育に携わった30年の間に、学習者に大きな変化があった。1990年代の学習者は、中国、韓国が圧倒的に多かったが、2000年以降は、国籍が多岐に亘り、学習分野も多様化した。日本への関心のきっかけは日本のポップカルチャーが多い。外国人にとって日本語の難点は、（母語によって日本語の難点は様々であるが、）文法ではなく、表記や敬語、コミュニケーションのスタイルだという。私たちは、外国の方と話す際に留意したい。講師が日本語に全く縁のないところから、大学に入って初めて日本語を学習され、5年後にはソフィア大学にて日本語の授業を担当されたというのは驚きだ。頑張れば、語学が習得できるということに勇気づけられる。



役員等名簿

役職名	氏名	所属団体等	役職名	氏名	所属団体等
名誉顧問	森 雅志	富山市長	理事	石野まり子	富山市民国際交流協会総務企画委員長
〃	犬島伸一郎	前富山市民国際交流協会会長	〃	中川 泰三	〃 姉妹友好都市委員長
顧問	小川 弘	前富山市民国際交流協会副会長	〃	堀田 順子	〃 文化交流委員長
会長	高木 繁雄	富山商工会議所会頭	〃	今井 史子	〃 ボランティア委員長
副会長	近藤 裕也	富山商工会議所女性会会長	〃	大森 茂	〃 広報・組織強化委員長
〃	新田 八朗	日本海ガス（株）取締役社長	〃	島 賢司	〃 国際教養委員長
理事	松野 公俊	（株）北陸銀行 国際部 担当部長	〃	佐伯 緑子	富山市文化国際課主幹（国際交流係長）
〃	畑中 保丸	富山大学理事・副学長	監事	西野 由香	国際ソロプチミスト富山会長エレクト
〃	尾畑 納子	富山国際大学現代社会学部学部長	〃	河原 順子	富山市民国際交流協会 元事務局長
〃	濱谷 一男	富山市中学校校長会会長	参与	小川 光夫	富山市民国際交流協会 元事務局長
〃	片山 建	富山市文化国際課課長	〃	町村 紀弘	〃
〃	村家 幸伸	富山商工会議所青年部会長	〃	場家 英範	〃
〃	白山 肇	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	〃	杉田 哲夫	〃
〃	館野 出	富山市美術作家連合会事務局長	〃	高田 誠治	〃
〃	岡田 昌代	ウイメンズ ウイング トヤマ会長			

団体・法人会員

（五十音順・敬称略）

朝日建設(株)	ウイメンズ ウイング トヤマ	大阪屋 ショップ	グ ラ フ	国際ソロプチミスト富山	五 本 水 産(株)
サクラパックス(株)	(株) サ プ ラ	(株) JTB 中部富山支店	(有) 松 栄	(株) スマックコーポレーション	武内 プレス工業(株)
立山科学工業(株)	とうざわ印刷工業(株)	富山駅前開発(株)	(株) 富山エクセルホテル東急	(株) 富山県義肢製作所	富山県青年海外協力隊を育てる会
富山県台湾総会	富山県日台親善協会	(一社) 富山県労働者福祉事業協会	富山市日中友好協会	富山市美術作家連合会	(株) 富山市民プラザ
富山商工会議所	富山商工会議所女性会	富山商工会議所青年部	富山テレビ放送(株)	富山日豪ニュージランド協会	日本海ガス(株)
阪神容器(株)	(株) ホク タ テ	(株) 北 陸 銀 行	(株) 源	(株) 宮本工業所	名鉄観光サービス(株)富山支店
(公財) ラボ国際交流センター					

多文化共生事業

外国語ボランティア養成講座前期 富山を伝える編

第1回 5月26日(土) 参加者56名

「立山黒部アルペンルートについて」

《お話》「立山黒部アルペンルートについて」

立山黒部観光(株)海外営業センター所長
金森伸一郎さん

金森氏に、立山黒部への海外観光客数の推移や知っておいたら便利なサービスについてお話をいただいた。特に最近、単に「見る」から「楽しむ」に焦点をあてているとのこと。JRの訪日外国人旅行者対象の「立山黒部オプション券」の発売、手荷物回送サービスについて説明あり。パンフレットも英、中、韓の三言語に加えて、タイ語、ベトナム語、インドネシア語版もある。お話の後、英、中、韓の各言語に分かれ、パンフレットや準備資料、スクリプトに基づき会話表現の練習を行った。

第2回 6月23日(土) 「富山の食」参加者53名

《お話》「すし文化と富山湾の美味しい魚」

富山正統すし研究倶楽部代表 吉田健作さん

テーマ「富山の食」の中から「すし」に絞った。吉田氏はこれまで、富山市で50年、米国カリフォルニア州トランスで15年間で自身の寿司店を経営。27ヶ国に自ら赴き、すし文化の普及活動を通じての稀有な経験、すし文化の歴史、富山の美味しい魚の理由等についてお話をいただいた。

握り寿司は、約200年前の江戸時代にルーツがあること。寿司に欠かせないシャリ、山葵(わさび)、ガリ(生姜)、お茶、笹など、それぞれの素材が意味を持つのが寿司の特徴である。その味わいを楽しむのがすし文化、日本文化である。

また、富山の魚が美味しい理由は、豊富な種類、活魚が獲れる定置網漁業が盛なこと、漁場一魚間の距離が近い、そして立山連峰山頂から富山湾深海底までの大きな高低差4000mの奇跡の地形と湧き水等を挙げられた。

お話の後、参考資料を基に英、中、韓の言語別に魚の名前や寿司についての用語やマナーの説明について学習した。

第3回 7月28日(土) 「富山の祭り」参加者42名

《お話》「山王まつりについて」

日枝神社 榎 禰宜 平尾 旨穂 さん

富山市の日枝神社の春季例大祭「山王まつり」、通称「さんさん」は、県内最大の祭りとして、長い歴史を持ち庶民に親しまれている。毎年5月31日から三日間で、約25万人の人出で賑わう。その日枝神社の平尾榎禰宜のお話と質疑を通じ、日本古来のまつりについて知識を深めた。

冒頭の神道についての説明の後、以前奉職なさった伊勢神宮の話しと絡め、表参道から入り鳥居をくぐるという歩き方やみそぎと手水の作法など、参拝の仕方について教授頂いた。普段聞くことのない、山王まつりの歴史や、まつりの準備の立ち上げから終了後までの様々な作業や行事の流れについて写真や交えての説明があった。屋台が目立ちがちだが、期間中、厳かに様々な儀式が行われている。山王まつり以外にも、日枝神社では年間を通じて様々な祭りが執り行われていることを学んだ。言語別セッションでは、祭りの種々の状況での説明を、英・中・韓の言語別に疑似会話形式で表現練習をした。

MPBで学ぶポルトガル語講座

講師 白川 セリナ サナエさん

第1回 4月10日(火)

歌で知るブラジルの魚

Tragédia No Fundo do Mar (海の中の悲劇) というサンバ曲には、エビ、カニ、サメ、イワシなど、たくさんの魚介類が登場する。例えばエビは、日本ではおめでたいイメージだが、ブラジルでは、赤面する人のたとえに使われることがあるという。ボラは逃げ足の速い人、カジキマグロは力強い男性など、人間の属性を海の生物にあてはめ、物語(殺人事件の捜査)に仕立てて歌っているのがこの曲。ブラジル人は、表面的な意味の裏に別の意味を含んだ歌を好むようです。折り畳まれた歌詞に本音を託す。この講座で教わらない本は、私には垣間見ることさえままならない。

第2回 5月8日(火)

ブラジルの通貨の話

今回の講座で、ブラジルにはめまぐるしく通貨単位が変わった過去があるということを知った。ほぼ政権が変わる度に通貨が変わり、1年にもたなかったものもあるというから、国民生活の混乱はいかほどだったろう。1994年から変わっていない現在のReal (リアル) は長命の部類だ。音楽シーンでは、歌詞に通貨単位やお金の通称を織り込めば、年代が明瞭になる。そうやって表面上は経済的な生活苦を歌いつつ、暗に時の政権を批判するという技法も生まれる。Beth Carvalho (ベチ・カルヴァーリョ) のSaco de Feijão (フェイスジョン豆の袋) という曲からは、主食の値上がりに対する主婦の悲鳴が聞こえてくる。

第3回 6月12日(火)

ラテン的表現で自分らしさを歌いましょう

ネイ・マトグロツソのSangue Latino (ラテンの血) という曲を取り上げた。LGBTの生き方を歌った曲だという。近年ヒトの性的多様性は細分化され、少数派をLGBTの四つの枠組みでは捉えきれず、LGBTsと複数形で表現する方向に進んでいると教わった。「LGBT等」といった感じが。分別して名前を与えないと意味づけできないのがヒトの悲しい性(さが)だ。しかし、分けきれない様々な性が現に存在する。その分別の限界を"s"が受け止めている。小さな"s"に含まれる、分別の網目から漏れた、あるいはあてて分別されたくない者たちが選んだ困難な生き方を、この歌は語っている。

第4回 7月10日(火)

ブラジルのサッカー応援歌を歌ってみよう

開催中のサッカーW杯にちなんでブラジル式の応援を習った。サッカー王国ブラジルでは、国を挙げて代表チームに肩入れする。大規模なパブリックビューイング以外にも、家庭や職場に大勢集まってテレビ観戦。その場は空間も食べ物も、ブラジル国旗の緑と黄色で彩られる。講師は殺風景な教室を黄色と緑の折紙で飾り、キュウリと黄パブリカのカナッペを用意してくれた。応援歌は開催年毎に生まれ、名曲は後年まで歌い継がれる。優勝目前で早くも歌い始められる優勝歌や、敗戦をけなす痛烈な替え歌もある。サッカーを楽しむというより、サッカーが人生なのだ。

韓国語で楽しく会話できる、「韓国語カフェトーク」！ 講師 姜 慶淑さん 4月21日(土)、5月19日(土)、6月16日(土)、7月21日(土)

富山県内の韓国語教室は、初級から中級の前半程度までではありますが、中級の後半から上級レベルのクラスはないため、韓国語カフェトークは韓国語に対する継続的学習意欲を満たすものであり大変貴重な講座です。教材は多少レベルの高いものもありますが、先生が適切に説明されるので、大きな負担感はありません。

また、直訳的な翻訳しかできない私にとって、先生は自然な日本語に翻訳され大変参考になります。教材は、韓国の新聞・雑誌・インターネットからの最新情報を使って、韓国と日本と比較しながら韓国語でディスカッションしています。韓国語ができるけど話す場がない方、ぜひ参加してみてください。

委員会報告

総務企画

国内研修 7月1日(日)~2日(月)

＜視察先＞(公財)新潟県国際交流協会
& (公財)新潟市国際交流協会

研修には22名が参加し、新潟県と市の国際交流協会を視察しました。協会の概要や特色ある事業などについて説明を受け、県の協会では、国際理解教育プレゼンテーションコンテスト高校生部門最優秀賞チームのVTRも観ました。参加者それぞれの委員会事業に関する活発な意見交換に、視察時間がとても短く感じられました。

国内研修に参加して

(公財)新潟県国際交流協会

野口久仁子

バスが新潟市の名所、萬代橋にさしかかると、信濃川のほとりに高くそびえる朱鷺メッセのビルが見えました。その2階の一角に、美しい川の景色をバックに、新潟県国際交流協会はありました。

協会では、「世界とつながる。世界をつなぐ。」をスローガンに、国際交流を推進するための多くの取り組みが企画、運営されていました。ホストファミリー講座、災害多言語支援、外国人医療に関する支援など、きめ細かな支援が行われていることに感心しました。

また、国際理解教育プレゼンテーションコンテストでは、高校生が、失敗を乗り越えて留学生と一緒にできることを探している姿に、心温まる思いがしました。国際化を担う人材が確かに育っていると感じました。

(公財)新潟市国際交流協会

中林 賢治

新潟市は、人口約80万1千人の日本海側唯一の政令指定都市で、外国人約5千人が在住している。

協会の誕生は、平成2年1月で、平成24年2月には、新たな公益財団法人の認定を受け、より公益性の高い事業を展開するなど、活動に厚みを増してきています。賛助会員制度も始まり、市民活動による協会活動の定着・継続につながっていくことを期待しているとのことでした。

また、環日本海地域との繋がりが深く、世界の6つの姉妹・友好都市と1つの交流協定都市があり、様々な交流が進み、親善の輪が広がっているとのこと、こうした国際交流活動を積極的に推進、支援するうえでも協会の役割は大きいと感じました。



姉妹友好都市

ダボ・リージョナル・カウンシル親善訪問団送別会

5月18日(金) 富山エクセルホテル東急15F リコモネ

富山市の姉妹友好都市であるオーストラリアのウェリントン・カウンシルが、合併によって、ダボ・リージョナル・カウンシルとなった。昨年11月の森市長の訪問に続き、今回は、その新しい市長ベン・シールズ氏を団長とする8名の方が富山市を訪問された。

送別会では、富山の自然の豊かさや、文化施設の充実していることについて、話が盛り上がりしました。特に雪の大谷で、14mの積雪の壁を見たことには、amazingという言葉が何度も聞かれた。また、セントラムや城址公園の赤い橋は、インスタ映えするということだった。

若き市長ベン・シールズ氏は情熱をこめて、富山で感動したことは、帰国後すぐに市議会に報告し、更なる友好に努めることを約束され、閉会となった。



文化交流

～海外で暮らして～

『暮らしてみわかること』

5月27日(日) 参加者24名

講師 埴生 Dadò 美鈴 さん

海外で長期滞在された経験者ならではの主にスイスと日本の生活習慣や子育てなどの違いについて話を伺いました。

消費税は日本より少ない7.7%だがビッグマックは¥1,000、所得税は給料の2ヶ月半くらいなど、さすが物価の高い国だと感じました。

学校給食がなく昼になると子供たちは家に帰り昼食をとるので母親はとても忙しいこと、夏休みは2ヶ月半もあり、入学、卒業式等は親子とも普段の服で出席する。公用語は州によって違いイタリア、フランス、ドイツ、ロマンシュ語の4つがあり案内板などは4つの言語で表記されている。ならばスイスの人達は皆、語学に堪能かと思われるが自分の住んでいる州で使われている言語しか話せない人が多いことや、主婦の立場から見た日常生活の違いなどを詳しくお話しいただきました。



日帰り交流会 バスハイク 「五箇山散策と和紙すき体験」

6月3日(日)

参加者42名(日本人13名、外国人29名)

行先 菅沼・相倉合掌造り集落見学、
紙すき体験、こきりこ鑑賞(生演奏)

初夏の晴天の中、バスで富山県が誇る世界遺産・五箇山へと向かいました。

道中、自己紹介を経てすっかり打ち解けた一行は、まず菅沼集落を散策した後、五箇山和紙の里へと向かいました。初めて和紙すきを体験する参加者も多く、オリジナルティ溢れる作品の数々に、思い出深いひと時となりました。その後、相倉集落へと進み、合掌造りの民宿「勇助」の中で、こきりこ踊りを鑑賞。生の演奏と踊りに参加者たちからは感嘆の声が上がりました。アンコールにも応えていただきました。貴重な伝統文化体験となりました。



書道&七夕飾り体験

7月8日(日)

参加者 日本人7名、外国人7名

「夏」「祭」「星」等、先生のお手本から、好きな字を選び練習。自信がついたところで色紙に清書した。みんな、初めてとは思えないぐらいいのびのびと筆を走らせているのが印象的だった。小筆にも挑戦し名前を書いて添えた。

後半は七夕にちなみ七夕飾りを作成。習いたての小筆で短冊に願を書いて笹に結ぶ。みんなの願いが届きますように。



ボランティア

お花見交流会 4月7日(土)

参加者 日本人21名、外国人12名

環水公園でのお花見交流会は残念ながら悪天候のため、韓国会館で開かれました。先ず桜の生花を囲み大野さんの「桜」についての話からスタートです。子供たちもいるのでゆっくりとわかりやすい説明で、桜の種類や歴史を教わりました。その後、おやつ配布と、各自持参のお弁当をひろげて楽しい回廊の時間をすごした後、桜にちなんだゲームやプレゼントタイムで楽しみました。最後に集合写真を撮り、終わった後、外国の人達から、桜について詳しく知った事と、お弁当を分け合っ食べることがとても良かったとの声がありました。



料理交流会 6月5日(火)

参加者 日本人22名、外国人6名

今回より大場先生の指導になり、まず、夏を元気に乗り切る食生活についての話を聞いた後「おいしく食べてスタミナアップ」と題した料理にとりかかりました。あんかけオムライス、コールスローサラダなど4種類の夏バテを元気に乗り切る料理でした。今回は体験行事として看護学生さん4人、中学生4人の若い方たちが参加されたので、いつもの親子の様な明るい会話がはずみ大変楽しい料理交流会となりました。

◎ 献立 ◎
きのこのみぞれあんオムライス、コールスローサラダ、おぼろ昆布と豆腐のすまし汁、大豆入りマッシュマロ



ゆかた着付け教室

7月29日(日) 参加者20名

中国、台湾、ケニア、ミャンマー、インドネシアの20人の参加で、まず協会で用意したゆかたの中から好きな柄と帯を選んでもらいました。今年は特に自分で着られるようになりたいという人が多く、とても熱心に、指導の方達に教わっていました。



◆ 4月7日 (土) スペイン & スペイン語

講師 Ms. Aki Maria Kurasaki González

グラナダについては、スペイン最後のイスラム王朝グラナダ王国が残したアルハンブラ宮殿ぐらいいしか知らなかったが、シェラネバダはスペイン語で「雪のかかった山」という名前通り年間を通じて雪が残るヨーロッパ最南端のスキー場があり、グラナダ市内から車で40分程で行ける。地中海にも面しているためアルムニカルという町は、ローマ時代からの地中海の軍事・交易拠点で、現在は地中海リゾート地として国内外で知られた町でトロピカルフルーツが名産である。海と山が近く両方を楽しめるところは富山と似ている。



◆ 6月2日 (土) ラオス & ラオス語

講師 Ms. Phetphaylin Chanthaboury

ラオスはかつて、ランサン王国として統一されたが、フランスによりインドシナ連邦に編入され、フランスによる統治やインドシナ戦いに巻き込まれ、1975年にラオス人民共和国が誕生した。親日家が多く、穏やかな国民性で性格は日本人と似ているとのこと。首都ビエンチャンでは、クラクションを鳴らす車がほとんどなく世界一静かな首都らしい。若者の間で日本のアニメやファッションが人気であることなどが親日家の多い理由であるらしい。



◆ 7月14日 (土) マレーシア & マレー語

講師 Mr. Ahmad Bustaman

近代建築と自然が調和した美しい首都、クアラルンプール。世界遺産の街マラッカやベナン島、ビーチリゾートのランカウイなど魅力的な街が多くある。マレーシアの空の玄関口クアラルンプール国際空港 (KLIA) は「森の空港 Airport in the forest, Forest in the airport」のテーマの下、黒川紀章氏が設計に携わり、建築と森林との調和が随所に見られるそうだ。



英語スピーチの会



◆ 4月10日 (火)

Speaker : Mr. Mark Anthony
(米国出身)

Topic : "How to Increase Tourism in Toyama"



◆ 5月8日 (火)

Speaker : Ms. Yen Ee Tan
(マレーシア出身)

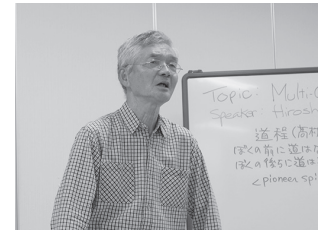
Topic : "A companion in my twenties, Toyama"



◆ 6月12日 (火)

Speaker : Gabor Andocs
DVM, Ph.D. (ハンガリー出身)

Topic : "Bio-electromagnetic approach of cancer treatment"



◆ 7月10日 (火)

Speaker : Hiroshi Maruta,
Ph.D. (オーストラリア在住)

Topic : "Multi-culturism: My 45 Years Overseas"

委員会委員募集

6つの委員会(総務企画、姉妹友好都市、文化交流、ボランティア、広報・組織強化委員会)に分かれて活動しています。各委員会では委員を募集中です。

義援金募金に引き続きご協力をお願いします。

義援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまからお寄せいただいた募金は、日本赤十字社を通じて復興支援に役立てていただきます。引き続きご協力をお願いします。(ボランティア委員会)

第25回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会

7月6日(金) ITビジネスプラザ武蔵(金沢市)

研修会全体会で(一財)自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザーの阿部一郎さんが「国際交流へのおもい〜異文化交流×多文化共生」と題して、新しい在留資格ができ、ますます外国の方が増える今の時代、交流し理解しあうことの大切さを話されました。分科会は、「地域ではたらく外国人市民」「日本語教室の課題」「外国人市民の地域参画」の3つのテーマに基づき、事例報告者の話を聞いて、私たちができることについて話し合いました。

社会に学ぶ『14歳の挑戦』～奥田中学校～

6月18日(月)から22日(金)までの活動でした。外国人相談員から中国・ブラジル・韓国のお話を聞いたり、日本語クラスの見学をしたりと当協会ならではの経験ができたのではないのでしょうか。

また、プリントの印刷や講座の準備など、地味だけど必要な裏方の業務も知ってもらえたと思います。

当協会での活動が、彼女たちの今後に少しでも役立てば幸いです。



お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（8月～12月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
8月4日(土) 13:30～15:00	多国言語文化交流クラス ポーランド&ポーランド語	30	富山市国際交流センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
8月4日(土) 16:00～19:00	富山まつり「越中おわら踊り」	50	城址大通り	合同	300円	会員・外国人
8月25日(土) 10:30～12:30	日本語ボランティア登録者研修会 「擬音語と擬態語Ⅱ」	30	当センター	---	会員無料 一般300円	会員・一般
9月4日(火) 10:00～13:00	料理交流会(2) 「おいしく食べて秋の健康づくり」	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
9月8日(土) 13:30～15:00	富山市総合防災訓練 事前研修会	70	当センター	合同	無料	会員・一般
9月15日(土)	外国語ボランティア養成講座実地研修	60	大岩山日石寺 眼目山立山寺	合同	バス代1000円	会員・外国人
9月29日(土) 8:30～11:00	富山市総合防災訓練参加	70	八尾コミュニティーセンター	合同	無料	会員・外国人
10月6日(土)	中学生英語講座開講	30	当センター	---	無料	中学校1年生
10月21日(日) 12:45～16:30	ガラスで作ろう!	20	ガラス工房	文化交流	未定	外国人
10月27日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア 養成講座後期①	---	当センター	---	無料	会員
11月11日(日) 10:30～16:30	国際交流フェスティバル 2018	---	富山駅構内 ・CiCビル	合同	---	---
11月24日(土) 13:30～15:00	外国語ボランティア 養成講座後期②	---	当センター	---	無料	会員
11月	国際交流TCAカレッジ	70	当センター	総務企画	無料	会員・一般
11月	年賀状を作ろう!	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
12月4日(火) 10:00～13:00	料理交流会(3) 「お正月の料理」	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人

休館日（8月～12月） 9月18日(火)、10月16日(火)、11月20日(火)、
年末年始（12/29～1/3）、8月は休館日なし
※行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/>
でご確認いただくか、協会までお問合せください。

〈講座日程の変更について〉

9月

- ・韓国語会話 9月8日休講
- ・ロシア語 9月8日⇒9月15日
- ・英語通訳ガイド・韓国語カフェトーク（9月15日）
⇒実地研修に振替

編集後記

今年は晴天続きの暑い夏。おかげで夕空がきれいです。夕焼けから段々とあたりが暗くなるころ、西の空に明るく輝く金星、南の空には重厚な輝きの木星、そして、南東の空には今年地球に大接近の火星が赤く輝いています。夕涼みがてら外へ出て夜空の星たちを堪能されては如何でしょうか？

残暑厳しいとは思いますが、熱中症にはくれぐれもお気を付けください。
(青海)